



出雲崎中学校だより

＜第10号＞

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和8年3月25日発行

教育目標 「豊かな心 たくましい実践」

目指す生徒像 「わかるまで、できるまで学ぶ生徒」「お互いを思いやる、心優しい生徒」「自己に挑戦し、自ら鍛える生徒」

「卒業証書授与式」

3月3日（火）、第54回卒業証書授与式が行われました。以下、校長式辞を学校だより用に書き換えたものを掲載いたします。-----

30名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんは、学級目標の「家康クラス」の通り、「天下統一」ならぬ「最高到達点」を目指して挑戦し続けた本当に立派な3年生でした。

4月の修学旅行では、1日目の京都観光が終わり、宿に向かうバスの車内で、バスガイドさんの「一番良かった場所はどこでしたか？」という問いかけに対して、「バスの中！」と答える心遣いに、私はとても温かい気持ちになりました。

6月の地区大会、7月の県大会では、強敵を相手に、最後まで諦めない姿勢に勇気をもらいました。吹奏楽コンクールでは、ホール全体に美しいハーモニーを響かせてくれました。また、校外のクラブ活動で一生懸命、夢を追いかけていた生徒もいました。みんな、目標を達成するために挑戦したからこそ、得られたことがたくさんあったと思います。

残暑の厳しい9月の体育祭は、練習から当日まで、3年生がリーダーシップを発揮し、1,2年生を導き、協力し合ってすばらしい体育祭を創り上げました。フィナーレでお互いの健闘をたたえ合っている姿が、印象的でした。

10月の合唱発表は、当日の演奏もさることながら、そこに至るまでの取組が何よりすばらしかったです。現状に満足せず、過去の自分たち、あるいは先輩たちを超えるという目標に挑戦する姿がそこにありました。

1月に入り、高校入試が始まりました。クラス全員が目標を達成できるように、お互いを励まし、支え合ってきました。

このように、「家康クラス」は、自分たちの夢をつかみ取ろうと挑戦し続けました。皆さんから多くの感動をもらいました。本当にありがとうございます。



卒業証書授与



送 辞



答 辞



卒業合唱「正解」



そして、今日を迎えました。人生のスコアボードは、中学3年生の段階まで得点が刻まれました。次のステージが皆さんを待っています。そこには、チャンスもあれば、ピンチもあります。これからも、「少しの勇気」「少しの我慢」「少しの感謝」の「3つの少し」を忘れないで、自分を愛することができる人、多くの人から愛される人になってもらいたいと思います。これからも、応援しています。

保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。明日からもお子様の1番の良き理解者として、また、夢を叶えるサポーターとして支えていただきますようお願いいたします。3年間、当校の教育活動に御理解と御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

結びとなりますが、教職員一同、卒業生の皆さんの人生が、より一層豊かなものになることを願って式辞といたします。

令和8年3月3日 出雲崎中学校長 _____



転出職員の紹介

この度、6名の教職員が転出することになりました。今まで、大変お世話になりました。

教 頭	— — — —	()
教 諭	_____	()
教 諭	— — — —	()
養護教諭	_____	()
主 事	— — — —	()
事務職員	_____	()



令和8年度の時程について（お知らせ）

「よりよい教育活動」を行っていくためには、教員が生徒と向き合う時間を確保することが大切です。これは、教員の長時間労働の問題とも関係があります。当校でも、部活動顧問の教員を主として、超過勤務している実態があります。このような状況が続いていくと、正常な教育活動が行えなくなってしまうことが危惧されます。

こういったことから、令和8年度は時程を一部変更し、終学活終了時刻を20分繰り上げ、年間を通して、放課後活動終了時刻17：15、完全下校17：30を基本とします。

ただし、部活動も教育的効果の高い活動ですので、中体連の大会や吹奏楽コンクールなどが行われる1学期を中心に、活動時間を確保するため、5限の日を1日増やす予定でいます。

どうか、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。